

R7 年度 1 学期終業式 校長講話

1 学期の終了にあたり、少しお話をさせていただきます。

1 学期は、昨年度までの慣れ親しんだ環境が大きくかわり、担任・教科担任、クラスメイトなど、様々なことがリスタートされます。新しい環境に気分一新し、「やるぞ!」と意気軒高となる反面、その環境に不慣れなため、違和感や不安等を併発したりもします。こうしたことから 1 学期は、環境の変化によるストレスやダメージを受けやすく、疲労がたまりやすかったのではないかと推測します。

更に、今年の梅雨は、雨が少なく暑い日がつづきました。暑さは私達から体力を奪い、精神の安定を阻害します。そのため、学業や部活に集中できないという日もあったのではないのでしょうか。

こうした中、皆さんは授業をはじめ、体育祭、校外学習などの行事、部活動等、様々なミッションをこなしてきました。特に体育祭では、体育委員や各部活動が関係各所で積極的に活動している姿や、クラスが一丸となって全力でパフォーマンスを繰り広げる姿など、皆さんの躍動する姿を拝見することができました。また部活動では、声を張り上げ元気よく動き回っている姿、作品を仕上げようと心を込めて活動している様子にも、幾度となく心揺さぶられました。

こうして振り返ると、1 学期という壁は、皆さんが思っている以上に高く険しいものだったと感じています。ここまで順調に乗り越えてきた皆さんに、最大の賛辞をお送りしたいと思います。生徒の皆さん、1 学期間、本当によくがんばりました。

2 学期早々に、文化祭が開催されます。文化祭は準備から本番まで活動期間が長い、一年の中でも最大規模の行事です。生徒によってはクラス発表、部活動発表と複数掛け持ちになることもあります。来校者も保護者・中学生を始め非常に多くの方が来校されます。各団体、一丸となつての活躍を期待しています。

さて、1 学期を通して、一つ気になったことがあるのでお伝えします。
それは言葉を発端としたトラブルです。

皆さんは、「親しき仲にも礼儀あり」ということわざを御存じでしょうか?

これは、中国の思想家、孔子が論語の中で用いた一文が由来となつてできたことわざです。

「親しき仲にも礼儀あり」

親しくなると、遠慮が無くなりそれが不和の元になることから、どんなに親しい関係でも、相手に対し最低限の礼儀を忘れてはならないという戒めです。

- 仲がいいからどんなことを言ってもいい
- マウントを取りたいがために、ついつい相手にきついことを言う
- 冗談のつもりで言ってしまった

皆さんも仲の良い友達と話をしているとき、調子に乗って、「つい言い過ぎたかな」とか「相手を傷つけてしまったかな」と感じたことがあるのではないのでしょうか。言わなくてもいい、言っただけいけない言葉を迂闊にも発すると、言葉は暴力となり、相手に強烈なダメージを与えることができます。私は、人との関係を健全に保つために、例えイデオロギーが異なっているとしても、互いを尊重し、不幸な争いを避け、平和的に共存することが大切なのだと感じています。

神聖ローマ帝国、今のオーストリアの作曲家、ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルトは、誰もが知る天才作曲家です。本校では、去る 6 月より、朝 8 時から約 20 分間、音楽を放送しています。流れている音楽はすべてモーツァルトの作品ですので、覚えておいてください。

さて、モーツァルトが天才と言われる所以は、彼が音楽的に早熟であったことや、おびただしい数の豊かな旋律をいとも簡単に創造できたことなど、様々ですが、私自身、彼の真骨頂は、音楽の

中に喜怒哀楽のような情動表現を、あまりにも合理的かつ奔放に組み込み、モーツァルト以前の歴代作曲家の誰よりも、音楽をより人間らしくしたことにある、と考えています。私は、モーツァルトの作品を数多く聞けば聞くほど、音楽表現の無限の可能性を、これ見よがしに突きつけられる思いになります。

そんな彼をモデルとした映画「アマデウス」において、モーツァルトは、言葉の使い方や所作があまりにも下品で粗野に描かれています。周りに配慮しない、必要以上の大きな声や、けたたましく笑い、駄々をこねるモーツァルトの姿には幻滅する視聴者も多いと思います。残念ながら、映画の中のモーツァルトは、「親しき仲にも礼儀あり」という所作は見受けられず、ほとんど傍若無人に描かれています。彼は音楽においては模範教師、私生活においては反面教師でした。You tubeでも「アマデウス」で検索すると、映画の場面を見ることができますので、お時間のあるときに視聴してみてください。

さて1学期間中、本校でも、言葉が原因で、相手に嫌な気持ちや不快な思いをさせたしまった事案が複数発生しました。

「親しき仲にも礼儀あり」

これを実践するには、ある程度、人生経験を積むなど、発達段階の上位に来ないと難しいことかもしれません。しかし高校生であれば、そろそろ実践できる年齢だと私は思います。

何か言葉を発したり、態度を表明するときには、孔子の言葉「親しき仲にも礼儀あり」を今一度思い出してほしく思います。これが実践できれば、人とのコミュニケーションがより円滑で豊かになるとともに、あなた自身がより大人として成長することと思います。

さてここで、体罰および性暴力に関するお知らせです。

先日、いじめ・体罰に関するアンケートを実施しました。まだ未実施の人がいましたら、本日中に実施をお願いいたします。詳しくは担任の先生に聞いてください。

教員や部活動指導員等、指導者からの叩く、蹴るなどの身体的暴力行為は、学校教育法11条で禁止されています。また、暴言を言われたり、生徒を辱めたり、繰り返し傷つくことを言われたり、机をけられるような威圧的行為は法律で禁止されていませんが、東京都のガイドラインにより禁止されています。もし指導の過程において不適切な指導だと感じた場合は、いじめ・体罰アンケートのみならず、話しやすい先生、SC等に相談してください。また、全国で教員による生徒への性的ハラスメントが問題になっています。同じ職業である我々にとってこの問題には強い憤りを感じているところですが、もし、校内で性的ハラスメントが生じた場合は、こちらも話しやすい先生、SC等に相談してください。

さて、明日から44日間の長期休業が始まります。学業、部活動、趣味、やりたいことに思いきりチャレンジしてください。時間を有効活用し更なるアップグレードを展開し、休み明けには、「Version 現在の自分+1」で登校してください。

3年生の皆さん、いよいよ天王山ですね。夏を制する者は受験を制す、希望進路の合格に向け、緊禪一番、勉学に励んでください。2年生、1年生の皆さんは、この夏に向ける自分の思いを文字に起こして明確化し、百折不撓の精神で、我が道を開拓してください。

皆さんにとって充実した、最高の夏休みとなることを心から祈念しています。

都立保谷高等学校長 石丸 昌延